

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決 算額[千 円]	29年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予 算額[千 円]
1	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	開発指導事務に要する経費	都市計画課			①土地の造成を行う開発行為において、新設道路や排水施設などの公共施設整備の技術基準を満たし良好な宅地開発が施工されるよう誘導を図る。 ②開発行為施工中の苦情や中高層建築に伴う要望など、近隣住民への対応を円滑に行い、良好な宅地開発が施工されるよう誘導する。	2,359	2,356	6精査・検証	①公共施設の整備に伴う技術基準は満たすだけでなく、ゆとりのある施設規模、景観にも優れた市街地整備を進めていくため、業務の改善を図り事務の円滑化を図る。 ②鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱の精査及び条例化も視野に入れた調査研究を行っていく。	2,369
2	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	市街地整備に要する経費	都市計画課			①まちづくり室の各業務に必要な経費の支出。 ②適正な予算計上及び支出のために、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	5,322	3,120	6精査・検証	①効果とコスト削減に配慮しつつ、継続する必要がある。 ②職員の知識向上や、地域との連携に配慮しつつ、より効果的な手法の検討をする。	3,204
3	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	都市軸形成促進事業	都市計画課	○	○	①都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、新京成線連続立体交差事業と併せて駅前広場等の整備の必要性から、地域住民や関係機関と協議を行いながら事業を推進していく。 ②新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始のスケジュールが示されたことから、初富駅前広場等の整備に伴う用地の確保や建物移転等について、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	1,620	3,541	7拡充	①初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要がある。 ②昨年度実施した用地測量等を踏まえ、国の交付金を活用した事業を推進するため、関係地権者の協力と、関係機関との調整を行う必要がある。	49,260
4	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	近隣商業拠点整備に要する経費	都市計画課			①近隣商業拠点の一つである北初富駅周辺地区では、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進していく。 ②北初富駅周辺の整備に向けて、引き続き関係機関と協議しながら検討していく必要がある。また、整備に必要な用地の取得に向けて、関係地権者との交渉を継続する必要がある。	0	1,560	6精査・検証	①新京成線連続立体交差事業の進捗を見定めながら、駅利用者の利便性や安全性を向上させるべく、駅前広場等の整備を促進する必要がある。 ②北初富駅周辺の整備について、引き続き関係機関との協議を行い、整備方針を決定する。	1,431